

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クラボウ先進技術センター新築工事	階数	地上5F
建設地	寝屋川市下木田町388-1、他15筆	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2015年2月18日
敷地面積	46,195 m <sup>2</sup>	作成者	(株)藤木工務店 阪口俊夫
建築面積	1,654 m <sup>2</sup>	確認日	2015年2月19日
延床面積	7,247 m <sup>2</sup>	確認者	(株)藤木工務店 阪口俊夫

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 31%  
③上記+②以外の 31%  
④上記+ 31%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	外壁面の開口部を最小とし、熱負荷の低減と快適性の確保の両立を図った。	0
Q1 室内環境	建物利用者のための室内環境を考慮し、喫煙室を設け、喫煙室には、排気ファンを設置し、他の空間へ拡散しないよう防煙区画とした。	Q3 室外環境 (敷地内) 道路境界、敷地境界沿いに緑地を配置した。
LR1 エネルギー	開口部の設置を最低限とし、高効率設備の採用した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率 31%とした。
Q2 サービス性能	建物利用者が快適に執務できるよう喫煙室、リフレッシュコーナーを広く計画した。	
LR2 資源・マテリアル	再生利用が容易なように躯体と分別可能な外壁仕上げをALCとした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	クラボウ先進技術センター新築工事		
	建設地	寝屋川市下木田町388-1、他15筆		
	用途/区分	事務所		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			B-
	CO2削減			5
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		5.0	5
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 1.0	3	
			住戸・宿泊		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			2.2
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		2.0		
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					